

議会だより

しょうわ

2012.1.23

No. **152**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

平成
祝 第



特集

議員と学生が
ワークシヨップ

地域防災計画改定

一般質問 **ここが聞きたい**

第5回 区長と議員の座談会 **多事争論**

地域住民と議員の対話集会 **井戸端会議**

未来に向かって
羽ばたけ新成人

2

4

6

12

14

へ政策を提案！



総務常任委員会

学生の事前調査

昭和町の実態を調べ、提案に繋げるために役場の担当課や昭和町内の現場に行き、疑問をぶついたり調査を行いました。



学生の提案

● 分権時代における市町村の人材育成策

地域分権一括法により、地域のことを地域独自で決定する仕組み・結果に責任を持つ仕組みになった現在、自治体職員の果たす役割は大きく、職員の人材育成は重要である。OJTや視察研修の充実、人事管理が必要だ。

● 昭和町図書館を充実

昭和町図書館に行政職員も使いたくなるような専門的資料もあるコーナーの設置とレファレンスサービス（資料等検索の手伝い）の提供。

● 昭和町災害対策基本条例

地域防災計画が見直される今、条例を制定することで、行政や住民の基本理念を定め基本方針を規定し、行政の施策をわかりやすく伝える。議員や各団体が災害時に迅速に対応できるよう指針や計画を明記し、有事対応型にする。町民に対して安全安心を発信。

議員の意見

学生の視点で提案された3つの政策について、それぞれの立場から活発な意見交換を行いました。私たちも災害対策基本条例を調査研究し、今後生かしていきたいと思います。

学生の提案

● 昭和町の地球温暖化対策

2つの工業団地のある地域特性に注目して自治体の果たすべき地球温暖化対策を。

工場の屋上緑化で助成金を

工場や商業施設の空きスペースにソーラーパネル設置

各工業団地でのゼロミッションを促進、援助

● 昭和町の公園の利用について

町内16以上の公園を現地調査した結果、それぞれの施設のベンチやトイレの整備、遊具の安全性などの課題を見つけ、住民の憩いの場として利用していくべき。



産業土木常任委員会

議員の意見

学生の視点から見た当委員会にかかわる提案は、大変参考になりました。町政に反映できるものについては、さらに検討・研究を重ねていきたいと思います。



学生が議会



ワークショップとは？

講師の意見を一方的に聞いたり、教材を読むだけでなく、参加者が専門家の助言を得ながら積極的に関わり、問題解決のために行う研究集会

平成23年12月15日、山梨学院大学との連携による一環として法学部政治行政学科の学生と議員によるワークショップを開催しました。まず全体式を行ったあと、案件ごとに総務・産業土木・教育厚生・3常任委員会に分かれ、ゼミグループによる発表が行われました。

学生の提案

- 高齢者福祉政策を施設型福祉から地域福祉へ
昭和町は県内でも若い町であるが都市化が進み地域コミュニティの希薄化が進む中で、長期的な福祉政策を考えていかなければならない。共助という点から、ボランティアやNPOによる助け合いを公的サービスに融合させ、地域住民の力を借りた新たな支え合いを。

地域福祉コーディネーターの育成も必要だ。

- 文化交流イベントを通じての相互理解・復興支援
東日本大震災のあと、さまざまな場所で復興支援が行われている。実際にイベントを行っている地域もあり、被災地の特産物の販売や被災地の方に地元の料理を振る舞ったり募金コーナーの設置など、人の集まる地域としての昭和町を活かし、地域全体でお祭りを開催してはどうか。

議員の意見

学生たちから、福祉の充実には地域の力が重要との意見をいただきました。昭和町らしいコミュニティ作りの参考にしていきます。



教育厚生常任委員会

平成23年度一般会計補正予算

地域防災計画改定業務 火災報知機設置事業等を増額補正

12月議会で 決まったこと

一般会計 全員賛成で可決

一般会計9,538万円(総額70億2,709万円)

一般会計は固定資産税・国・県支出金・基金から繰入れなどを財源として増額。

補正の主な事業としては、外国人登録法廃止に伴う住民基本台帳法一部改正等に係わるシステム改修、障害福祉制度改正システム導入を計上し、子育て支援医療費などを増額しました。

なお、指定寄付金があり、地域福祉基金に積み立てました。

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険会計156万円増(総額17億500万円)

介護保険会計2,389万円増(総額6億8,501万円)

保険給付の増額に伴い国県負担金、支払基金交付金等の増額、さらに財政安定化基金貸付金を財源とし、保険給付費などに充てるものです。

介護サービス会計136万円減(総額1,289万円)

下水道事業会計4,052万円減(総額10億6,994万円)

平成23年12月定例会は、12月6日から9日まで4日間の会期で開きました。この議会には、町長から平成23年度一般会計および特別会計補正予算5件のほか、条例改正3件、専決処分の承認1件の合計9件が提出され、可決・承認しました。このほか継続審査中の請願1件を、趣旨採択としました。

7日の一般質問には6人の議員が町政の課題について幅広く質問を展開し、町の考えを問いただしました。

専決処分

・町職員給与条例等の改正
県の人事委員会勧告に基づき職員給与を減額。
全員賛成で承認

条例の改正

・町税条例
町民税の第一期を6月に納期改正。
寄付金税制の拡充および不申告に対する過料の額を3万円から10万円に増額するなどの改正。

賛成14、反対1（深澤平助議員）
・公共物管理条例
町有地の道路占用料単価

改定。
全員賛成で可決

条例の制定

・昭和町道路占有料徴収条例
町道にある電柱や変圧器看板などの占用料を徴収する。

全員賛成で可決

浜岡原発の永久停止を求める請願は『趣旨採択』に

9月定例会議会で継続審査となっていた「浜岡原発の永久停止を求める請願」は慎重審査の結果、『趣旨採択』とすることに決定しました。
全員賛成で趣旨採択

※用語解説

― 趣旨採択 ―

請願や陳情について、妥当であるが実現性の面で確信が持てない場合や、要望をそのまま認めることは困難であるが、趣旨が妥当と認められるもの。
しかし、議会で決定したこと重みは大きく、趣旨がくみ取られ一部施策に反映されることもある。

「教育厚生常任委員会」

各施設を
指定管理にしては？

福島議員 給食センターの資材設備の修繕料や、点検料などが年々増えているが、委託方法を考えるべきでは。町関係の施設の見直しも含め検討してほしい。

学校教育課長 建設時より4年が経過し、安全性を考え予算計上している。調理部門のみの指定管理はできるが、施設管理は利潤が出ないため、町でしなければならぬ。

田中議員 温水プールはどうか。
教育長 使用料を徴収しているので可能だ。
深澤平助議員 見直しの時期でもあるが、指定管理をしても利潤が上がることも考えられないので、現状通りではないのでは。

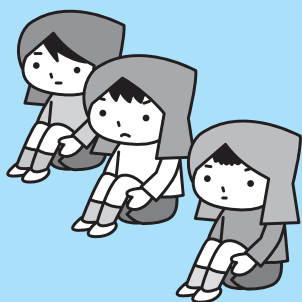


建設から4年目の給食センター

学校の防災対策は？

河住議員 学校の防災マニュアルに、防災教育に努めるとあるが行っているのか。また、学校が開校時と閉校時では、災害時の対応が違うのでは。

学校教育課長 現在は避難訓練などを行っているが、東日本大震災後、見直し中なので、関係課と協議し、検討している。また開校時・閉校時については、震災後に町内小中学校の4校会で、統一の基準を考えているが、他にも課題があるので至急詰めていきたい。



「産業土木常任委員会」

粗大ごみの
パトロールは？

塚原議員 パトロールは全町をまわっているのか、24時間体制でしているのであれば、監視カメラの設置を検討したらどうか。

環境経済課長 一部地域でパトロールをしている。監視カメラは今後検討したい。



パトロール時に撮影した粗大ごみ

「総務常任委員会」

地域防災計画の
見直し！

長谷川議員 策定見直しはいつころの予定か。

三井議員 見直し計画の中で、町ではどの部分を具体化するのか。

企画財政課長 県で見直し作業を行っており、町としては液化化の部分具体化したい。県では原発関係や災害時の援護者、援護施設、防災協定の締結、帰宅困難者対策なども見直されるので、整合性を図り年度内を目標に見直したい。

避難場所が少ない！

深澤克男議員 昭和町は一次避難地が少ない。町で指定するのか。

企画財政課長 一次避難地の見直しは、空いている農地等もあるので、個所数を増やすことについて検討したい。

施策を問う → ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

Q 福祉避難所の整備は



昨年の県防災訓練でも福祉避難所を設置



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

一般質問

河住

厚生労働省から「福祉避難所設置・運営に関するガイドライン」が出された。福祉避難所に入所が必要な対象者の把握、利用可能な施設の把握を求めているが、取り組みは。

A 利用可能な施設の把握に努める

町長

指定避難所は5力所ある。65歳以上の高齢者、視覚・聴覚・肢体不自由等障がい者、乳幼児、外国人等を対象者として把握している。福祉避難所として利用可能な施設の把握に努め、地域防災計画を見直していきたい。

再質問

河住

指定避難所と福祉避難所は違うが、設置内容はどうなっているのか、協定を結んでいる施設の内容等を聞く。

企画財政課長

地域防災計画を見直す中で、障がい者施設やGISの導入など、詳細に確

認して検討したい。

Q 地域と家庭の防災数値目標設定を

河住

町・自主防災組織・地域ごとに「具体的防災数値目標」を決める。例えば「我が町は死者ゼロを目指す」「逃げ遅れゼロを目指す」など家庭を含めた具体的な取り組みと対策が必要だ。町の所見を伺う。

A 地域防災計画を見直し検討する

町長

具体的な数値目標は示されていないが、自主防災組織、企業ごとの目標設定は必要で、各地区の自主防災組織の充実強化を図り、地域防災計画の見直しの中で検討していきたい。

GISとは？

文字や画像などを地図と結び付けてコンピューター上に再現し、さまざまな情報を統合したり、分かりやすく地図表現する仕組み。

Q 職員配置のあり方は

A 定数条例見直しも含め検討

再質問

Q 税の滞納対策に
具体的な職員配置を

石原

特別職を除く正規職員100人と、臨時・

嘱託職員94人体制を、人件費削減という財政的な見地からでなく住民の権利や財産を守り、サービスを維持・向上させる体制として、どのように捉えているのか。

町長

定員管理目標を目指し、定数削減を実現した結果、臨時職員の増加につながった。現状では正規職員数での町民サービス維持向上は難しいが、職員の能力把握や業績に基づく適材適所の人事管理を行い、定数適正化を模索し、定数条例の見直しも含め検討している。

石原

住民の負担に応え、責任ある対応が図れる正規職員を増員する考えはあるか。

総務課長

事務事業・分掌を洗い出し、定数適正化に向け改善していきたい。

石原

町の事業全体を対象に、正規職員が行う仕事を早急に洗い出し、人員配置の再検討や、徴税業務に正規職員を振り向ける必要がある。町の考えは。

A 強力な徴収業務
体制を組む

町長

税滞納整理推進機構との連携で、成果は上がっている。国保系には徴収業務の経験豊富な職員を配置した。今後は、能力・経験豊富な職員を活用できる条件整備に取り組み、強力な徴収業務体制を図りながら、収納課の設置をしていきたい。



いしはら たかひろ
石原 高明 議員



職員研修で資質向上を図る

Q 常永駅周辺の 総合的整備計画は



つかはら まさし
塚原 将司 議員

塚原 過去2度にわたり、計画的な常永駅周辺土地の買い上げ、中央市との調整、JR東海との協議など質問してきたが、その後進展が見られない状況だ。「昭和町第5次総合計画（後期基本計画）」にも、常永土地地区画整理事業に合わせ、常永駅の整備を検討するところがあるが、新しく策定された後期基本計画の取り組みについて、あらためて町の考えを伺う。

A 整備計画は長期的 に計画・検討

町長 財政の厳しい中、買収予算の確保が難しく現在に至っているが、JR東海との協議を進めながら、常永駅周辺の整備を検討していく必要がある。常永・国母両駅周辺の総合的な整備計画は長期的な計画の中で検討していきたい。また、常永土地地区画整理事業も、大型店舗等の

進出で常永駅の利用者も増え、自転車も道路まで占拠し交通の支障ともなっており、常永駅前の住宅跡地を早めに取得し、駅前の駐輪場などに活用していきたい。

再質問

塚原 道路に面したJR東海用地の一部を取得し、道路整備をする考えは。

総務課長 JR東海と改めて協議し、駅前の道路整備も計画的に検討していきたい。



整備が待たれる常永駅周辺

Q 介護保険改正後の 要支援者サービス継続を



ふかさわ へいすけ
深澤 平助 議員

町長 介護予防・日常生活支援総合事業は、市町村の判断となっている。国から具体的な指針が示されていないが、必要なサービス・事業が低下しないよう、現状を分析し、総合事業の実施適否を決定したい。

**A 現状分析し
実施が否か決めたい**

深澤 介護保険の要支援のサービスが抑制されるので、第5期計画の策定にあたり、総合事業は盛り込まない計画を策定すべきだ。



介護予防運動するお年寄り

**Q 保険料引き上げに
公費増額を**

深澤 被保険者の負担能力が限界にきている。負担増を避け、公費負担等を増やすべきだ。

**A 国へも
要望している**

町長 国民健康保険の公費拡大を、町村会を通じて国へ要望した。町としては被保険者からの税負担は必要なので、ご理解いただきたい。

**Q リニア建設問題点
の情報公開を**

深澤 電力をどこから供給するのか、糸魚川・静岡線の活断層の心配など多くの疑問もある。ＪＲ東海に情報を公開させるべきだ。

**A 情報公開は全県的
にも働きかける**

町長 最終的な中間駅の位置や、具体的な建設計画のスケジュールも示されるが、環境影響などの状況を含め、情報公開について全県的な問題とし、ＪＲ東海に働きかけていきたい。

Q 女性の視点による 防災対策を



かわだ 河田あけみ 議員

河田

地域防災計画を見直す際、積極的な女性の登用をすべきでは。

防災に対して女性独自の組織づくりを。

「避難所運営ゲーム」を取り入れた、地域防災訓練を行う考えはないか。

**A 女性の援護の必要性
強く感じる**

町長

10月実施の山梨県地震防災訓練では、女性団体連絡協議会や、日赤奉仕団の協力をいただき、女性からの援護の必要性を強く

感じた。女性団体を含めた関係団体と議論し、地域防災計画に反映させ、防災会議委員にも女性を選考していきたい。女性団体連絡協議会、男女共同参画推進委員会などの意見を聞き、検討していく。避難所運営ゲームも取り入れた訓練を検討したい。

関連質問

河住

女性消防隊や女性団体、要援護者、1人暮らしのお年寄り等の減災を含め、女性の立場で見えてあげる方法がとれないか。

町長

有事の出勤など危険の伴う面もあるので、検討していきたい。



県の防災訓練で活動をする女性団体

**Q 粗大ごみの収集
方法の見直しは**

河田

各区の粗大ごみ収集所で収集時間や粗大ごみ以外の持ち込みが多く、相変わらずマナー違反が多い。現在の収集方法を見直す時期にきているのではないか。

A 思い切った改革が必要

町長

行政サービス維持のため、トータルで考えていく必要がある。粗大ごみに関する問題を、町と住民の双方で協力し解決することが大事で、思い切った改革が必要な時期に来ている。見直しを検討していきたい。

Q 昭和玉穂中央通り線の計画実現を



たなか ひろよし 田中 博愛 議員

田中

押原地区は農業振興
地域が区域の大半で、

主要な都市計画道路「中小河
原築地新居線」計画はあるが、
進んでいない。

アルプス通りや、新山梨環
状線にも直結し、山梨県の表
玄関にもなるうとしているリ
ニア中央新幹線駅舎のアクセ
ス道路としても、有効な路線
となる。都市計画道路昭和玉
穂中央通り線の実現に向け、
町はどのように考えているのか。

A リニアアクセス道路
として必要不可欠

町長

西条・昭和インター
線の完成後に、事業
着手する予定だったが、大型
建設事業を優先し、集中的に
施工したため、事業着手が遅
れている。現在、西条、昭和
インター線は平成26年完成を
目指して用地買収を行っている。
将来的にリニア中間駅とのア
クセス道路としても必要不可
欠であり、一日も早く西条・
昭和インター線を開通させ、
財政状況を考慮しながら、昭
和玉穂中央通り線の計画実現
に向け、進めていきたい。

再質問

田中

近隣市との協議はど
の程度行っているか。

建設課長

都市計画決定
の際、中央市
内の施工は市道認定し、中央
市で施工していただくよう協
議している。

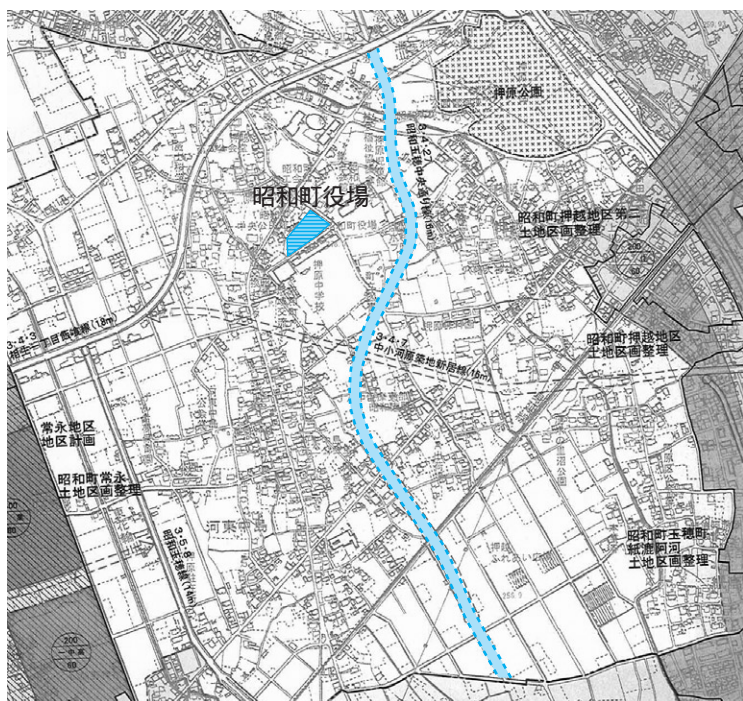
関連質問

中澤

昭和玉穂中央通り線は、
町の活力と魅力ある
都市計画に必要不可欠だ。道
路整備の優先度を上げ、早急
に実施する考えは。

町長

当時、昭和インター
線の実現を優先して
進めてきた経緯がある。県の
都市計画課では、複数路線を
並行して整備できないことを
受けており、昭和西条インタ
ー線を早期実現させ、他路線
にも着手できればと考えている。



昭和玉穂中央通り線予定箇所

多事争論

開かれた議会を目指し、住民の皆さまのご意見を議会活動に反映させるため、住民の先頭に立って活躍されている区長さんと、意見交換会を開催しました。（要旨のみ掲載）

参加者

(敬称略)

西条一区 田中憲治(副会長)
西条二区 依田茂巳
清水新居 保坂一衛
西条新田 塩田堯憲
押越 山田昇
河東中島 柳澤保

紙漣阿原 武井啓吉(副会長)
築地新居 中澤孝造
飯喰 磯部洋
河西 秋山正巳
上河東 杉原喜彦
上河東二区 石川重明(会長)

以上12区長・ほか町議会議員



座談会の様子

都市計画の
バランスを

河東中島区長 町制40周年の折に、都市計画のバランスを質問したい。西条地区が区画整理され、常永地区も区画整理が進んでいる。押原地区は調整区域で、住みたい人は多くても簡単に家を建てること

ができず、人口増加も見込めない。議会として公平性を保つ意味で、町のバランスをどう考えるのか。

深澤克男議員 昔、西条二区の人口増で分区分をした経緯があり、常永地区も人口増加を見込んで早めに手を打った方がよいということ聞きたくて一般質問した。

中澤議員 マスタープランについて質問したが、昭和町がバランスの取れた地域となるよう当局に言っていきたい。

萩原議長 平成12年にマスタープランが作られた。常永が短期、築地が中期、中島が長期ということで作られた。農振地区は、国や県が簡単に開発されては困るというところがあったと思う。将来のことを考え、押原地区の開発を考えていかなければならない。

田中議員 現在後期の策定を行っている最中だ。甲府地区の都市計画法で市街化区域と調整区域に分けたとき、住民に意見を聞き線引きしたと聞いている。委員会では一部調整区域の見直しを打ち出している。

河東中島区長 人為的に押越や中島に人が住めない調整区域に選択したから、人為的に見直しをしていくしかない。40年待ったが区切りということで、もっと真剣に平等・公平に考えていくべきでは。

三井議員 昭和57年に昭和バイパスができた時、都市計画法で市街化区域と調整区域を分けた。イトーヨーカドーの話が出たとき、開発しないのなら他地域に市街化を移すということ区画整理が進んだ。中島もチャンスがなかったわけではない。条例を定めると、調整区域の中でも一団地まとまって作るということが可能であるという法律ができ、町長もできるのであれば、研究したいとの回答であった。

区の工事許可は

清水新居区長 区の工事許可で、議員の判はいらないのではないのか。

長谷川議員 土木委員さんが側溝のフタをかぶせることや、道路を舗装する時など、議員のハンコをもらいに来る。区長と土木委員の印があれば良いのではないのか。

押越区長 以前、地区の整備を議員が知らなくて、議員の判も、ということで始まった。それは議員のなかで検討してもらって結論を出してほしい。**清水新居区長** 確かに区のことなので、区長に責任がある。議員の判は必要ないと思う。

犬のふん害 マナーを

深澤平助議員 犬のふんなどの件だが、町でもポスターなど設置している。行政も努力しているが、結局マナーの問題と思う。区の中で議論し、組長を通じ、末端まで話が行き渡れば、意識が高まると思う。ポスターが貼ってあるようではまだまだだ。お手数でも区の中で話し合ってほしい。

西条一區長 機会あることに

犬のふんについて話を出しているが、去年に比べ感覚的に減っている。放置するのでなく、あらゆる会議で訴えることで、地域の人々にマナーが浸透していくと思う。外国では、犬のDNAまで登録し、ふんから誰が飼い主か特定できるようだ。日本ではそこまですることはないと思うが、機会あるごとにマナーを呼びかければ、減っていくと思う。



議員も粗大ごみを視察

粗大ごみの問題

田中議員 環境保全推進大会で各地区の朝の粗大ごみ収集の様子を写真に撮り、調査をした。結果、きれいに出不されている地区、不法投棄がされている地区（テレビ・タイヤなど）、荷札がほとんど付いていない地区、事業者の捨てるごみがある地区、前日の夜に廃品回収車が資源になりそうなものを拾いに来た地区などあった。各地区の環境委員さんと相談しながら、マナーという点でも一緒になってやってほしい。

上河東二區長 以前、井戸端会議でも話がでたが、荷札が本当に必要なのか疑問だ。回収したとき、荷札が付いていないものを置いていくわけでもなく、結局持っていくのであれば、荷札は要らないのではないかと。町でも検討してほしい。

一般質問を 傍聴して

深澤平助議員 9月議会の一一般質問を傍聴した感想は。

西条一區長 個々にそれぞれ素晴らしいが、最後において締めくくると議員さんが多かったのが印象に残っている。できればそれはやめてほしいかと思う。

河東中島區長 新人議員たちも質問をしてよかったが、関連質問がもっとあっても良いと思った。早口でなく、もっとはっきりと自信を持って発表してほしい。



一般質問を傍聴する区長会

議員改選時の 感謝状は

清水新居區長 当局と議員とがもっと緊張感を持つても良いのではないかと。改選時に、町長から感謝状をもらうのはおかしいと思う。議長から議員とか、町民から議員にというのは分かるが、町長からというのはどうかと思う。

お詫びと訂正

前回151号6ページ、請願の紹介議員名に謝りがありました。

⑧ 長谷川幸博議員

⑨ 長谷川幸廣議員

お詫びして訂正します。

また、4ページの財政健全化判断比率について当局より修正報告がありました。

⑧ 実質公債費比率9.7 将来負担比率71.2

⑨ 実質公債費比率9.6 将来負担比率70.1

地域住民と議員の対話集会

井戸端会議



次の開催予定

1月20日(金) 上河東二区

2月17日(金) 築地新居区

2月 未 定 西条新田区

開かれた議会を目指し、地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指すのが町議会の役割です。

井戸端会議で出された意見・要望は結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒にあって課題解決に知恵を絞っていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

紙漕阿原区(第7回)

10月15日 紙漕阿原区公会堂

● 出席者 紙漕阿原区民 8人
● 参加議員 総務常任委員会

三井 猛委員長
長谷川幸廣 塚原将司
野中敏美
萩原 馨議長
● 地元議員 田中博愛

おもな意見・要望と議会の対応

Q 井戸掘削の届出基準はどうなっているのか。一般家庭の井戸設置も届け出るのか。簡単に掘ってはいけないのか。

A 届出が必要。採取量によって届出が許可が決まっている。

Q 阿原踏切は普段の交通量は多くないが、対向車が来ると待つていなければならない。踏切を広げるようJRに要請できないか。

A 上河東二区の横田第二踏切でも改良を要請しているが、JRはどこかの踏切を閉鎖するのであれば可能だという見解だ。また、地元住民や利用する人たちの了解を得て閉鎖できる踏切があったとしても、工事費は町負担とのこと。JRとの話し合いが進展しない。

阿原踏切を広げられないか



阿原踏切も長い目で見て、町に要望を上げたらどうか。

Q 昭和町に発生する災害として何が考えられるか。また、ハザードマップの配布はどうか。災害が発生したとき、第一避難場所から総合体育館に避難するのに誰の指示があるのか。

A 地震や洪水などが考えられる。ハザードマップは各家庭に配布済みで、別冊で非常時に準備しておくものや、持ち出し物等も掲載してある。ハザードマップは企画財政課でももらえる。第一避難場所から阿原の指定避難所の総合体育館への指示は担当職員が行う。

上河東区(第8回)

10月19日 上河東区公会堂

- 出席者 上河東区民 30人
- 参加議員 教育厚生常任委員会

- 河田あけみ委員長
- 深澤克男 深澤平助
- 樋口敏夫 河住保茂
- 萩原 馨議長
- 地元議員 塚原将司

おもな意見・要望と議会の対応

Q 町の災害対策に衛星携帯電話を2台(90万円)購入し、1台は庁舎に固定設置するが、各地区や避難場所の学校等にも1台ずつ設置したらどうか。

A 3月の震災で停電となり、固定電話や携帯電話で情報収集ができなかった。被害状況等の情報伝達手段として活用するため、災害時に優先的に使用できる「特設公衆電話」をNTTが設置している。また、学校に設置のIP電話が活用できる。

Q 放射能の危険に対する不安は、昭和町は大丈夫だといってもホットスポットなど心配だ。多くの地点で定期的に測定し、町民に開示して欲しい。また井戸水についても定期的に調べて欲しい。



放射能測定、井戸水調査も

A 放射能測定は広域で、県が中心に公表。結果はいずれも通常の範囲で、環境省が定めた基準値を大きく下回り影響が出ていない。井戸水は甲府市上下水道局で町内の水質検査をしており、震災以降も水質に変化はない報告だ。

Q 町の保養所は静岡だけでなく、長野方面とも契約しないのか。利用者と補助金は。

A 利用状況から検討していきたい。22年の補助金全体は約375万円で、デイズニールランド775人、早川町100人、鳴沢村449人、静岡1635人。

西条二区(第9回)

11月12日 西条二区公会堂

- 出席者 西条二区民 55人
- 参加議員 産業土木常任委員会

- 田中博愛委員長
- 中澤康夫 遠藤辰男
- 福島正明 林 和仁
- 萩原 馨議長
- 地元議員 長谷川幸廣 深澤克男

おもな意見・要望と議会の対応

Q 都市化が進行し、宅地化が進んでいる。子どもや老人がコミュニケーションの拠点にできる近くの公用の空き地を確保してほしい。

A 空き地も少ないが財政面から公用地の確保が難しい。民間と連携・提携した空き地の利用、例えばカインズホームなどの連携を考えていかなければいけない。具体的な対応を話し合う必要がある。

Q 避難場所の表示を明確にして、分かりやすくしてほしい。

A 町でも先進地を視察するなど、検討している。

Q 釜無川や鎌田川の氾濫の対応は。また、昭和町では液状化が心配される。地下水位が高いので、多くの液状化被害想定やハザードマップの検討、情報の提供と整理



防災をテーマに議論をかわす

が必要だと思うが。

A 大型河川の氾濫については、議会の議論で他の市町村より問題がないとのことだ。国土交通省の防災担当の監視の指示による対応。防災マップや、きめこまやかな調査の必要性も含め方策を検討し、議会としても対応を検討したい。

Q 災害では、消防の人などは消火に専念するなど想定以上にマンパワーの不足が懸念される。リーダーの要請、専門教育の備えが必要ではないか。

A 防災訓練などを重ねることが大切だと思う。

委員会レポート

REPORT

教育厚生常任委員会

平成23年
10月6日

(町内施設)

町内の施設から新たな発見

昭和町内の委員会所管の各施設を視察研修しました。
・ケアプラザ昭和
・小規模多機能ホーム
・学校給食センター
・ドロップ
・NPO法人パンジーグループホーム
・みらいファーム
(障がい者就労支援)
・サポート昭和
(障がい者地域活動支援センター)

ケアプラザ昭和は町内初の小規模多機能ホームで、施設を見学しました。
学校給食センターでは給食を試食しながら、栄養士の先生に説明を受けました。ドロップでは障がい児者の自立の現状など、説明いただきました。
みらいファームは障がい者の就労移行支援事業などを行い、野菜・花作り、販売などを行っています。
サポート昭和は障がい児者が自立した日常生活や社会生活を営むよう支援して

います。

教育厚生常任委員会では各施設の現状や課題を伺い、今後の検討課題とさせていただきます。

(委員長 河田あけみ・記)



みらいファームで説明を受ける

県事業視察

平成23年
11月29日

米倉山・笛吹市境川



米倉山にあるソーラーパネル

昭和町選出の塩澤浩典議とともに、山梨県事業の視察を行いました。甲府市中道地区では、地球温暖化対策を総合的に推進するため、米倉山に建設中の太陽光発電所を視察しました。

これは山梨県と東京電力との共同事業で、全国有数の日射量の多い地域特性を生かし、再生可能エネルギーの導入や普及に取り組んでいるとのこと。現地には、太陽光パネルが整然と並び、PR施設の「ゆめソーラー館やまなし」が建設中でした。

次に、笛吹市境川地区の一般廃棄物最終処分場の計画地を視察し、最終処分場がないのは山梨県だけなので、今後も山梨県内27市町村の理解を求めていきたい、計画地は自然の形状を生かし、極力経費のかからない方法で事業を進めたいとのことでした。

平成23年
12月13日
～14日

産業土木常任委員会

(愛知県幸田町・常滑市)

地道な話し合いと工夫で 「売れる」直売所を

1日目は、昭和町でも建設を検討している農産物直売所の視察を計画し、愛知県額田郡幸田町にある「幸田 憩の農園」の視察を行いました。おもな特産物の出荷状況や施設の組織状況、概要など詳細な部分も説明を受けました。

説明後、店内を巡回すると地域生産者の出店物が入口近くにあり、レイアウトに注意しているとのことでした。

2日目の「あいち臨空新エネルギーパーク」は常滑市のセントレア空港に隣接し、愛知万博の理念と成果を継承した新エネルギーに関する実証研究を進めている施設です。

まず始めに映像によるプレゼンテーションを受け、体験館では「見て触れて体験して学ぶ」をコンセプトにしたPRスペースで詳細な説明を受けてから、屋外にある各種研究施設を実際に視察しました。集光型太陽光発電プラント、小型風力発電装置、蓄電式小型風力発電装置、バイオマス発電、家庭用燃料電池、電気

自動車の充電施設の普及に向けた実証研究などがありました。現在、原発問題が叫ばれているなか、早期の新エネルギー普及が望まれるところです。今回の視察を、今後の議会活動に生かしたいと思っています。

(委員長 田中博愛・記)



エネルギーパーク

視 察 研 修

耐震性貯水槽の現地視察

●平成23年12月19日(常永小学校校庭)

校庭南側で工事中でしたが、工事が完了すると地中に埋められてしまうため、区長会とともに議員13人が現地視察を行いました。東日本大震災後、地域住民の防災意識が高まっていることから、防災意識の高揚と、地域町民に周知していただくことを目的に実施されました。

飲料水兼用耐震性貯水槽とは、災害時に飲み水を確保するために設置するもので、1人1日3リットルの水を3日間分と、生活に必要な雑用水20リットルの合計29リットルを使い、2,000人分の水が確保されます。

通常は、水道管の一部として貯水槽内に常に新鮮な水が流れ、緊急時には遮断弁が作動し、災害時の水を確保します。町では、これからも計画的に順次増設の予定です。

防災倉庫を視察

●平成23年12月6日(押原公園)

12月議会中の委員会終了後、防災倉庫の備蓄状況について、現地視察を議員全員で行いました。押原公園内にある防災倉庫には、東日本大震災後に防災備品の見直しを行い、新たに各種用品等を追加しました。今後、各自主防災組織(自治会)に配布するものもあり、配布前に全議員が備蓄品の確認をしました。

議会で実施している井戸端会議の折に、町の防災備蓄品が分からないとの意見も聞く中での確認の視察でした。

参加した議員は安堵する一方、まだ不十分なものもあるとの意見がありましたが、担当者から非常に財政も厳しい時であるが、早急に対応していきたいと説明がありました。

議会モニター制度 募集のお知らせ

昭和町議会では、町民の皆さまからの要望・提言等の意見を広く聴取し、町づくりや議会の運営に反映すべく、議会モニター制度を取り入れ議会改革に取り組んでいます。

この制度は、議会運営に対してご意見やアイデアをいただき「住んで良かった昭和町」と言える町の実現に努めるための制度です。



1. 資格

満20歳以上の町民（ただし、町の行政委員などの公務に携わっている人および公務員はなれません）

2. 内容

昭和町議会の本会議や委員会を傍聴
議会で行うアンケート調査や自主的に意見等を投稿
モニター会議への出席
議会だより「しょうわ」の閲覧
議会報告会や地区の井戸端会議への参加
その他

3. 任期

原則2年だが再任は妨げない

4. 定数

西条・押原・常永地区各2名、計6名で公募
または議会推薦とします

5. 組織

6名をもって組織する

6. 会議

議長が必要に応じて招集し、会議を開きます

7. 申込期日

平成24年2月29日

8. 申込先

昭和町議会事務局
電話番号（055）275-8842

県の地方自治表彰に 山田前議員 浅川前議員 受賞！

平成23年11月20日、県政功績者表彰式がアピオで行われ、地方自治の分野で山田昇前議員と浅川武男前議員が受賞されました。

お二人とも昭和町議会で議長職を通じ、長年にわたり町政の発展に貢献され、地方自治の発展に尽くされた功績が認められての受賞となりました。議会での活動がこの賞につながっていったことを大変うれしく思います。お祝いを申し上げます！



議会だより 県コンクール 最優秀賞!!



平成23年11月2日、第29回山梨県町村議会広報コンクールの表彰式が行われました。県内の9町村33紙の応募の中から、当議会が発行している「議会だより しょうわNO.149」が、レイアウトなどの読みやすさと議会活動に特色があり、先進的な面が審査員から高い評価を受け、3年連続で最優秀賞を受賞しました。今後もさらなる精進を重ねて、読みやすい広報をつくっていききたいと思います。

平成23年
10月24日
～25

広報編集特別委員会研修

東京の砂防会館で行われた町村議会広報研修会に参加しました。

議会クイズ

空欄に適切な言葉を入れてください。

- ① 山梨学院大学生と議員で○○○ショップを開催
- ② 第○回、区長と議員の座談会
- ③ 議会中、議員が○○公園の防災倉庫を視察
- ④ 議会○○○○制度募集します

151号クイズの答え

75 43 液状 薬物

《応募方法》

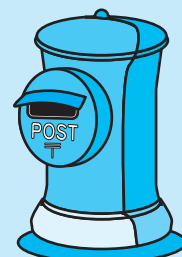
はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛

《しめきり》

2月末日 消印有効



ヒント

議会だよりを
読んでください

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

子育てする町・昭和町



河西区

松田 成枝さん

甲府市の人口が1人減ってしまつてと言われながら、昭和町に嫁いで23年が経ちました。昭和町もこの数年ですっかり様変わりし、便利な町に発展してきました。

我が家では、3人の子どもに恵まれ子育てをしてきました。子どもたちは地区の様々な行事に参加する中で、近所のおじさん、おばさんに叱られたり褒められたりし、地域に育てられながら成長してきました。

子育てでも一段落したところで何かお手伝いをお願い、5年前からファミリーサポートの援助会員になり、地域の若いお母さんの応援をしています。何度かサポートしたことのある他県から来ていた若い夫婦から「常永区画整理の土地に家を買っちゃいました。私たちも河西区の住民になります」と聞いたときは、本当にうれしくなりました。昭和町を気に入ってくれたのだと誇らしくも思いました。子育て支援が充実している町こそ、子育て真っ最中の若い世代が安心して暮らすことができ、ますます発展していくものと思います。

父の故郷に永住



清水新居区

保坂 哲彌さん

少年時代、家族で住んでいた東京から、両親の実家である山梨によく行きました。父の実家からは、田んぼ・畑が広がり荒川の土手まで続いていて、東京と違い自然がいっぱい。夏休みには、とんぼ・ザリガニ・いなご・カブトムシを捕りに、遊んだ楽しい思い出があります（当時、昭和村清水）。父が山梨に転属し実家の隣に家を建て、東京で生活していた私は、東京生まれ、東京育ちの妻と結婚し子どもも2人。

母が亡くなり父1人となったので、私の家族が実家に行くことになり、私は単身赴任で週末、東京から実家に帰る日々を5年間送り、その後、山梨に転属。再度単身赴任で千葉・茨城へ、定年退職するまで7年間過ごしました。

定年後実家に戻り、昭和町役場に就職。体調を崩し1年半で退職。現在、区のグラウンド・ゴルフに入り、毎日、区の会員と練習をするようになり、温かく接していただき交流が多くなりました。国道20号線を挟み清水新居区は甲府に近いため、なかなか他地区と交流がありませんでしたが、昭和町主催や他の大会等に積極的に参加し、他地区の方々とも顔見知りとなりました。少しですがグラウンド・ゴルフを通じて、仲間とのつながりができたように思います。

編集ノート



夜まで停電が続く、響がありました。幸い大きな事には至らずほっとしました。

しかし、この揺れの大きさに驚くとともに、私たちも防災・減災に対する意識を再認識させられました。町では「昭和町地域防災計画」を見直しますが、議会としても、住民の皆様からいただいた意見を反映していきたいと思っております。

昨年11月2日に行われた第29回町議会広報コンクールでは、3年連続最優秀賞を受賞しました。これからも広報委員全員で力を合わせ、昭和町議会の活動を皆様により分かりやすく、より親しまれる広報づくりを目指してまいります。本年もよろしくお願いたします。

（三井 猛・記）

○広報編集委員会
委員長 河住 保茂
副委員長 河田 あけみ
委員 三井 和仁
委員 林 深澤 克男
委員 石原 高明

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

3月8日（木）開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

（河西・佐藤）